

おokayまの森整備公社提供資料
平成29年度シカ被害防護対策並びに列状間伐の普及に向けた現地検討会
第二部 説明資料(平成29年10月13日)

おokayまの森整備公社造林事業地内容

所在地 新見市 神郷下神代 字 カラカサキ1529 地内

事業番号 55-13号 林齢37年生

植栽内容	スギ	0.70ha
	ヒノキ	4.01ha
	除地等	0.14ha

施業歴	1980年	植栽
	1993年	除伐
	1994年	1回目枝打ち
	2000年	1回目保育間伐
	2006・2007年	2回目保育間伐
	2014年	収穫事業(利用間伐「列状間伐 伐採率33.3%、2列伐採・4列残存」、作業路開設)

所在地 新見市 神郷下神代 字 カジャソウリ1527 地内

事業番号 56-158号 林齢36年生

植栽内容	スギ	5.41ha
	ヒノキ	7.56ha
	除地等	0.68ha

施業歴	1981年	植栽
	1995年	除伐、1回目枝打ち
	2001年	1回目保育間伐、2回目枝打ち
	2008年	2回目保育間伐
	2015年	収穫事業(利用間伐「列状間伐 伐採率33.3%、2列伐採・4列残存」、作業路開設)

公社施業体系

13年生	2,800本/ha→2,100本/ha 25%除伐。 ・生育を阻害する不用木及び不良木を除去。
19年生	2,100本/ha→1,400本/ha 33.3%定性保育間伐。 ・形質不良木を中心に伐採する切捨て間伐。
35年生	1,400本/ha→910本/ha 35.0%間伐。 利用間伐(収穫事業)・保育間伐 ・生産コストの低減を図り、広葉樹の侵入を促進させるため列状間伐を基本とする。 ・収益が見込める箇所は、4列残し2列伐採する列状間伐が基本、保育が必要な区域は定性間伐。 4残2伐を基本とし、現地によっては2残1伐することが出来る。
42年生	910本/ha→590本/ha 35.2%間伐。 利用間伐(収穫事業)及び保育間伐 ・残存列内の間隔調整する定性間伐。
49年生	590本/ha→385本/ha 34.7%択伐。 択伐(収穫事業)及び保育間伐 ・収益性を考慮し、残存木の間隔調整する定性択伐及び定性保育伐。
57年生	385本/ha→250本/ha 35.1%択伐。 択伐(収穫事業)及び保育間伐 ・49年生と同様の定性択伐
65年生	250本/ha→175本/ha 30%択伐。 択伐(収穫事業) ・最終目標に定性間隔調整する定性択伐、残った本数は70年生の針広混交林で返還。

